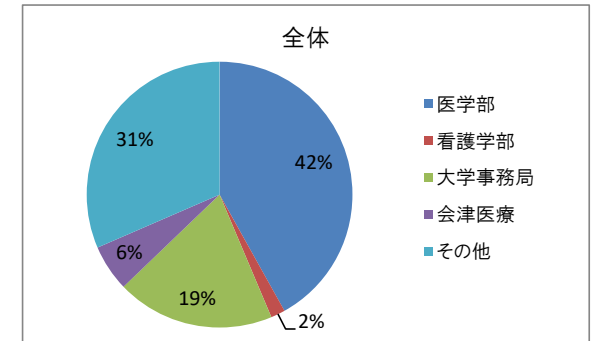


平成28年度「男女共同参画に関するアンケート」集計結果

1. アンケート回答者

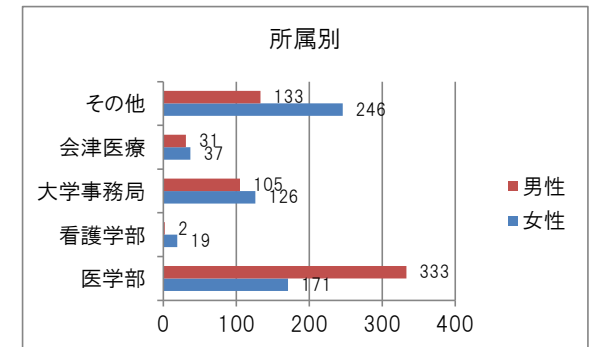
	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
計	504	21	231	68	379

総計 1203名



○所属内訳

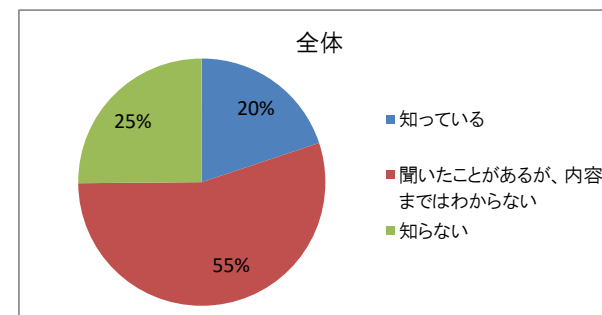
	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
女性	171	19	126	37	246
男性	333	2	105	31	133
計	504	21	231	68	379



2. 男女共同参画を推進するための「基本理念」及び「基本方針」を知っていますか？

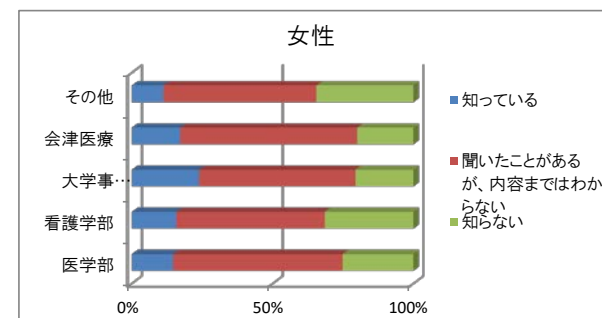
○全体(総回答数 1197)

	総計
知っている	238
聞いたことがあるが、内容まではわからない	658
知らない	301



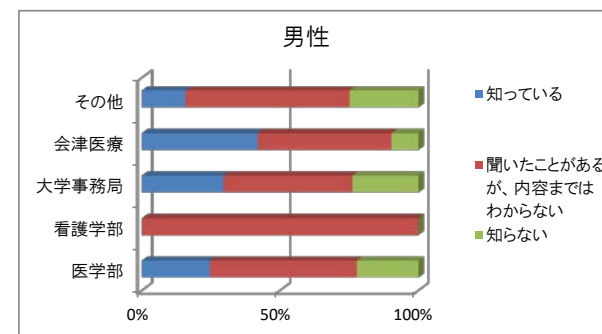
○女性

	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
知っている	25	3	30	6	27
聞いたことがあるが、内容まではわからない	103	10	70	22	133
知らない	43	6	26	7	84



○男性

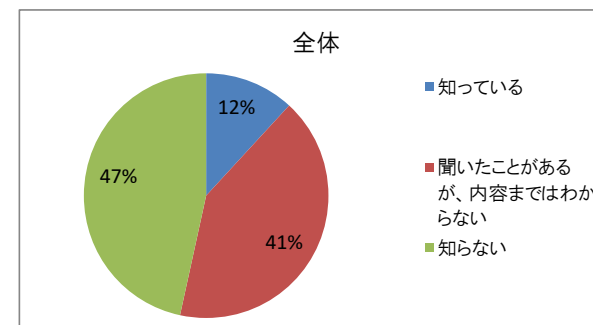
	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
知っている	82	0	31	13	21
聞いたことがあるが、内容まではわからない	176	1	49	15	79
知らない	74	0	25	3	33



3. 「男女共同参画推進行動計画」を知っていますか？

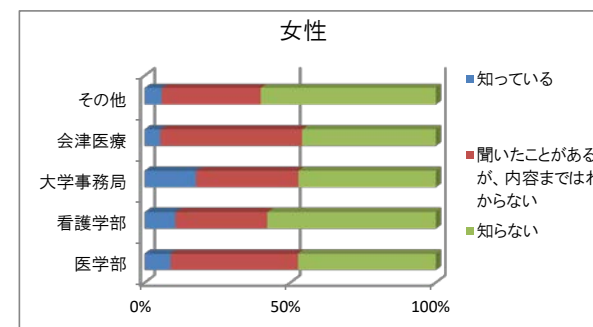
○全体(総回答数 1198)

	総計
知っている	142
聞いたことがあるが、内容まではわからない	498
知らない	558



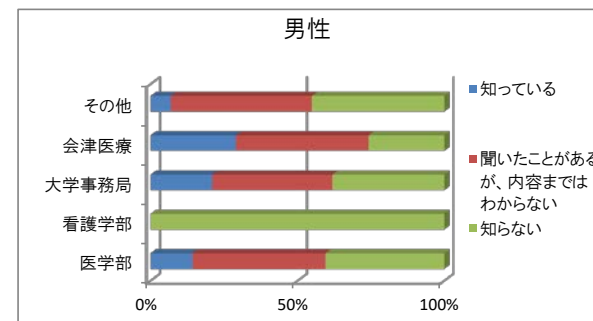
○女性

	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
知っている	15	2	22	2	14
聞いたことがあるが、内容まではわからない	75	6	44	18	83
知らない	81	11	59	17	146



○男性

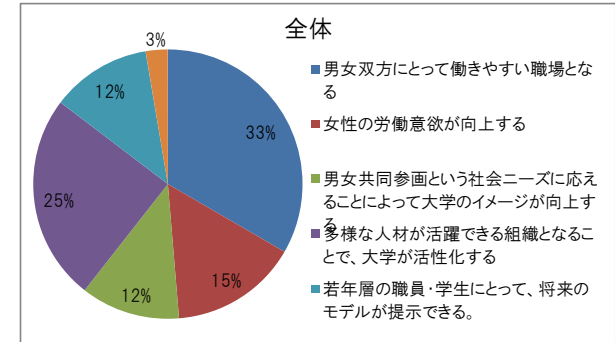
	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
知っている	47	0	22	9	9
聞いたことがあるが、内容まではわからない	151	0	43	14	64
知らない	135	1	40	8	60



4. 本学で男女共同参画を推進することは、どのようなプラス効果があると思いますか？（2つまで回答可能）

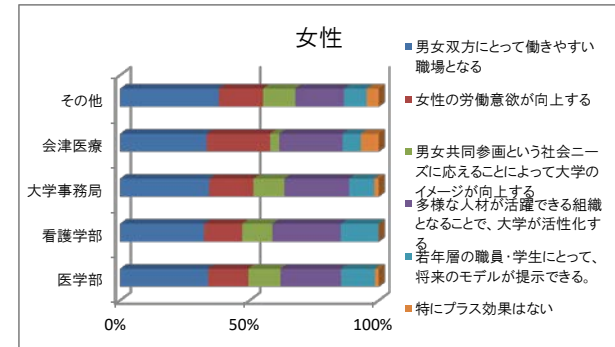
○全体（総回答数 2149）

	総計
男女双方にとって働きやすい職場となる	717
女性の労働意欲が向上する	329
男女共同参画という社会ニーズに応えることによって大学のイメージが向上する	256
多様な人材が活躍できる組織となることで、大学が活性化する	532
若年層の職員・学生にとって、将来のモデルが提示できる。	258
特にプラス効果はない	57



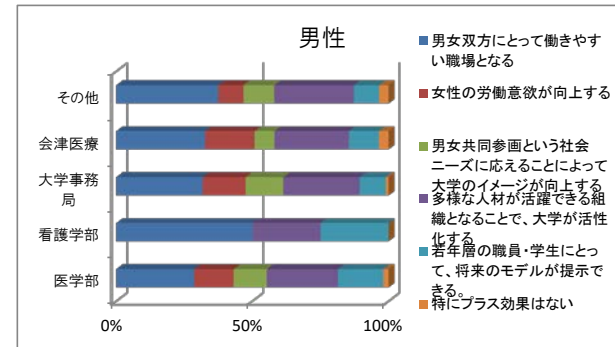
○女性

	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
男女双方にとって働きやすい職場となる	109	11	75	19	158
女性の労働意欲が向上する	50	5	37	14	71
男女共同参画という社会ニーズに応えることによって大学のイメージが向上する	40	4	26	2	52
多様な人材が活躍できる組織となることで、大学が活性化する	76	9	55	14	79
若年層の職員・学生にとって、将来のモデルが提示できる。	42	5	21	4	36
特にプラス効果はない	5	0	4	4	20



○男性

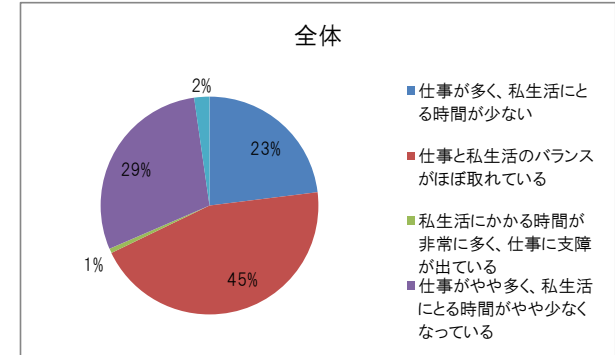
	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
男女双方にとって働きやすい職場となる	179	2	60	18	86
女性の労働意欲が向上する	91	0	30	10	21
男女共同参画という社会ニーズに応えることによって大学のイメージが向上する	76	0	26	4	26
多様な人材が活躍できる組織となることで、大学が活性化する	163	1	53	15	67
若年層の職員・学生にとって、将来のモデルが提示できる。	104	1	18	6	21
特にプラス効果はない	12	0	2	2	8



5. 現在、あなたが理想と考えるバランスで仕事と生活の両立ができていますか？

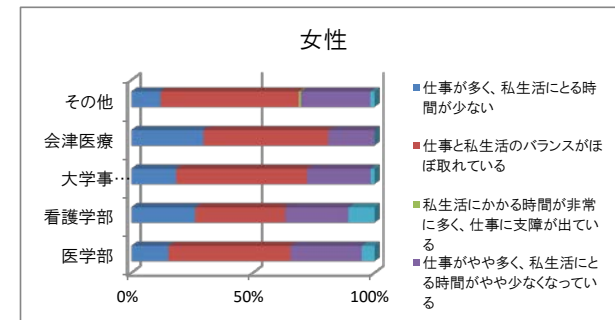
○全体(総回答数 1197)

	総計
仕事が多く、私生活にとる時間が少ない	276
仕事と私生活のバランスがほぼ取れている	536
私生活にかかる時間が非常に多く、仕事に支障が出ている	8
仕事はやや多く、私生活にとる時間がやや少なくなっている	350
私生活にかかる時間が多く、仕事が十分にできない	27



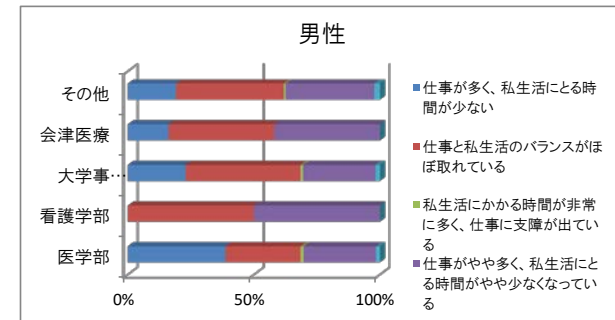
○女性

	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
仕事が多く、私生活にとる時間が少ない	26	5	23	11	29
仕事と私生活のバランスがほぼ取れている	86	7	68	19	139
私生活にかかる時間が非常に多く、仕事に支障が出ている	0	0	0	0	2
仕事はやや多く、私生活にとる時間がやや少なくなっている	50	5	33	7	70
私生活にかかる時間が多く、仕事が十分にできない	9	2	2	0	4



○男性

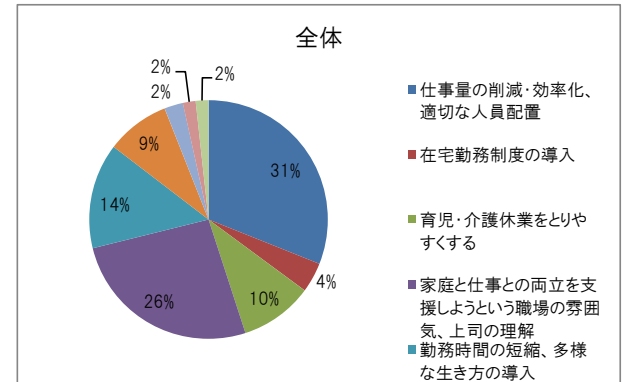
	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
仕事が多く、私生活にとる時間が少ない	128	0	24	5	25
仕事と私生活のバランスがほぼ取れている	99	1	48	13	56
私生活にかかる時間が非常に多く、仕事に支障が出ている	4	0	1	0	1
仕事はやや多く、私生活にとる時間がやや少なくなっている	95	1	30	13	46
私生活にかかる時間が多く、仕事が十分にできない	5	0	2	0	3



6. 仕事と私生活を自分の理想のバランスにするために、必要だと思うことは何ですか？(3つまで回答可)

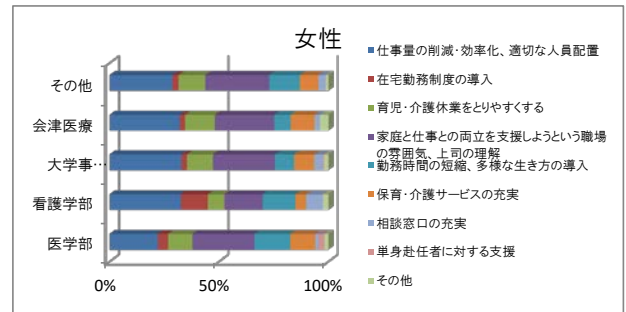
○全体(総回答数 2834)

	総計
仕事量の削減・効率化、適切な人員配置	880
在宅勤務制度の導入	115
育児・介護休業をとりやすくする	280
家庭と仕事との両立を支援しようという職場の雰囲気、上司の理解	741
勤務時間の短縮、多様な生き方の導入	404
保育・介護サービスの充実	244
相談窓口の充実	72
単身赴任者に対する支援	49
その他	49



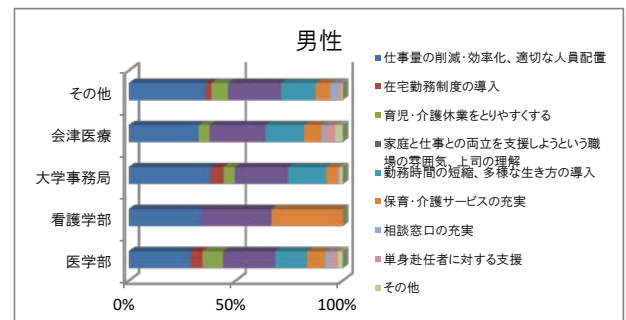
○女性

	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
仕事量の削減・効率化、適切な人員配置	91	13	104	26	166
在宅勤務制度の導入	19	5	8	2	17
育児・介護休業をとりやすくする	45	3	37	11	70
家庭と仕事との両立を支援しようという職場の雰囲気、上司の理解	117	7	90	22	169
勤務時間の短縮、多様な生き方の導入	67	6	28	6	81
保育・介護サービスの充実	48	2	29	9	49
相談窓口の充実	6	3	12	2	18
単身赴任者に対する支援	11	0	2	0	1
その他	7	1	6	3	7



○男性

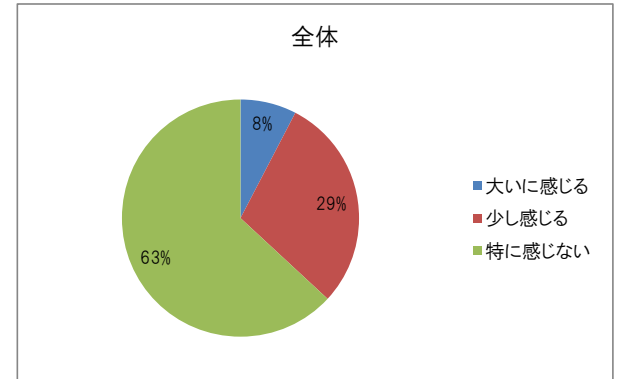
	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
仕事量の削減・効率化、適切な人員配置	224	2	86	20	108
在宅勤務制度の導入	43	0	13	0	8
育児・介護休業をとりやすくする	75	0	12	3	24
家庭と仕事との両立を支援しようという職場の雰囲気、上司の理解	188	2	56	16	74
勤務時間の短縮、多様な生き方の導入	116	0	40	11	49
保育・介護サービスの充実	67	2	12	5	21
相談窓口の充実	19	0	1	1	10
単身赴任者に対する支援	26	0	1	3	5
その他	18	0	3	2	2



7. あなたの職場で男女差別を感じたことはありますか？

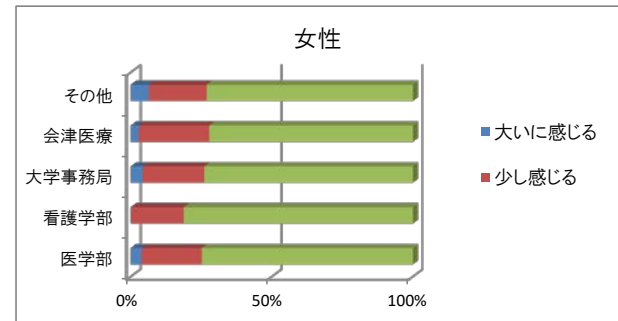
○全体(総回答数 851)

	総計
大いに感じる	65
少し感じる	249
特に感じない	537



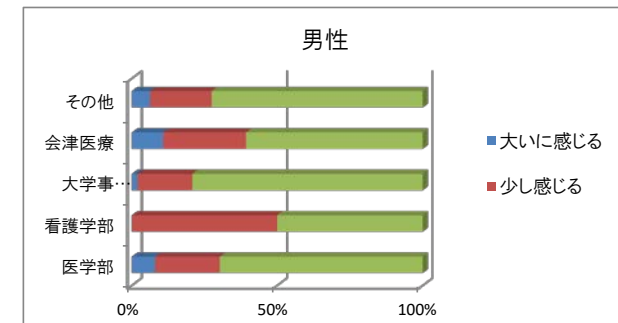
○女性

	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
大いに感じる	6	0	5	1	15
少し感じる	35	3	27	9	49
特に感じない	122	13	91	26	174



○男性

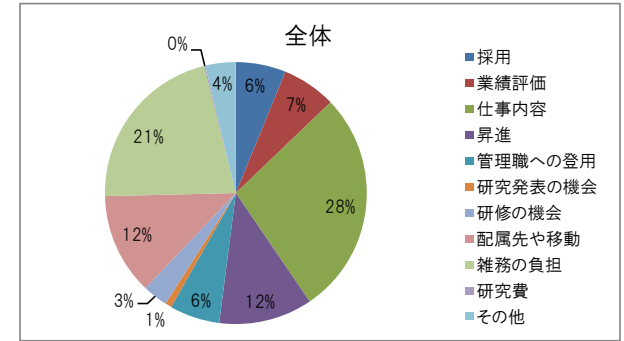
	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
大いに感じる	25	0	2	3	8
少し感じる	71	1	19	8	27
特に感じない	221	1	80	17	92



8. 男女差別を感じるのどのような点ですか？(7にて「少し感じる」「大いに感じると答えた人のみ、3つまで回答可)

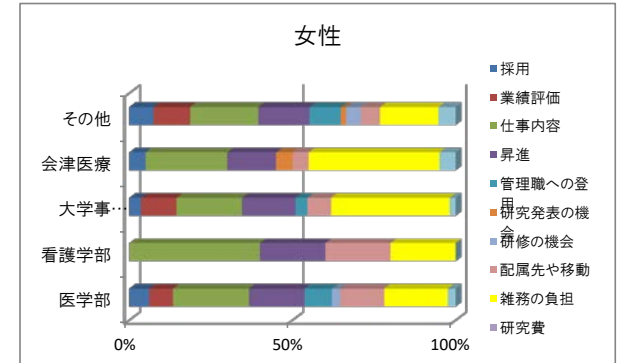
○全体(総回答数 615)

	総計
採用	38
業績評価	41
仕事内容	170
昇進	71
管理職への登用	38
研究発表の機会	5
研修の機会	19
配属先や移動	77
雑務の負担	132
研究費	1
その他	23



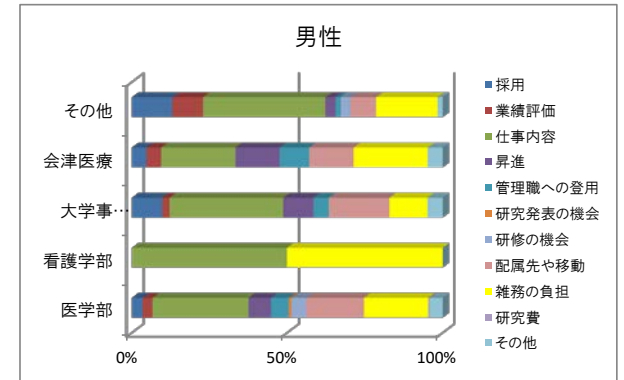
○女性

	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
採用	5	0	2	1	10
業績評価	6	0	6	0	15
仕事内容	19	2	11	5	28
昇進	14	1	9	3	21
管理職への登用	7	0	2	0	13
研究発表の機会	0	0	0	1	2
研修の機会	2	0	0	0	6
配属先や移動	11	1	4	1	8
雑務の負担	16	1	20	8	24
研究費	0	0	0	0	0
その他	2	0	1	1	7



○男性

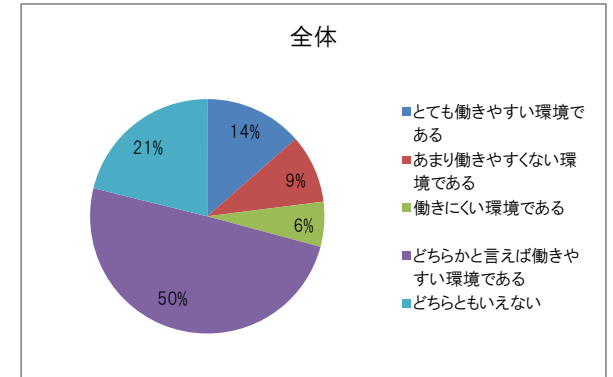
	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
採用	7	0	4	1	8
業績評価	6	0	1	1	6
仕事内容	60	1	15	5	24
昇進	14	0	4	3	2
管理職への登用	11	0	2	2	1
研究発表の機会	2	0	0	0	0
研修の機会	9	0	0	0	2
配属先や移動	36	0	8	3	5
雑務の負担	40	1	5	5	12
研究費	1	0	0	0	0
その他	8	0	2	1	1



9. 所属部署において、ライフイベントを抱える男女が双方に働きやすい環境になっていますか？

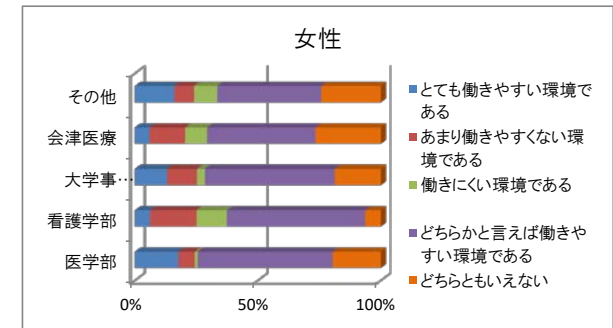
○全体(総回答数 1144)

	総計
とても働きやすい環境である	155
あまり働きやすすくない環境である	108
働きにくい環境である	71
どちらかと言えば働きやすい環境である	568
どちらともいえない	242



○女性

	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
とても働きやすい環境である	29	1	16	2	38
あまり働きやすすくない環境である	11	3	15	5	19
働きにくい環境である	2	2	4	3	22
どちらかと言えば働きやすい環境である	90	9	65	15	100
どちらともいえない	32	1	23	9	57



○男性

	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
とても働きやすい環境である	41	1	12	1	14
あまり働きやすすくない環境である	30	0	10	2	13
働きにくい環境である	21	0	7	2	8
どちらかと言えば働きやすい環境である	154	1	52	17	65
どちらともいえない	69	0	20	5	26

